

# 豊後大野市立犬飼小学校

## 学力向上プランの概要

### 1 「付けたい力を意識した密度の濃い授業」の創造

- ①校内研で板書と児童のノートの交流
- ②新大分スタンダードに沿った授業の展開
- ③学年のねらいを明確にしたペア学習・グループ学習

### 2 「組織的な授業改善」の推進

- ①校内研究の充実
- ②1人年間3回以上の互見授業による授業改善の推進

### 3 補充学習・家庭学習指導の充実

- ①どんコミュニティネット学習サポーターの活用（放課後TRY学習）
- ②「家庭学習のやくそく」の推進
- ③目標協働型4点セットに基づく家庭・地域の取組の評価・改善

## 効果のある取組事例

### ①指導方法や指導形態の工夫

- ・算数習熟度別授業の取組（3・4・5年）
- ・ペア学習・グループ学習の取組（全学年）
- ・キラキラタイム（昼休み後15分間のプリント学習の時間）の取組  
(1・2年 週3回)
- ・国語タイムの取組（3～6年 週3回）
- ・放課後TRY学習（地域住民によるプリント学習）の取組（2・3年）
- ・互見授業の取組（全員）
- ・ユニバーサルデザインのよさを取り入れた教室環境の整備と授業実践
- ・宿題やテストのやり直しの徹底

### ②児童生徒の学習意欲を向上させるための工夫

- ・ゲストティーチャーの活用（全学年）
- ・出前授業の活用（4・5・6年）
- ・朝の10分間の読書タイム
- ・読み聞かせボランティアの活用
- ・学校司書を活用した読書指導・図書館環境の整備

### ③家庭学習の取組

- ・保護者と連携し「家庭学習の約束」を守るよう働きかけ

## 別紙資料①

### 令和元年度 習熟度別少人数指導について

豊後大野市立犬飼小学校

#### 1 平成30年度までの成果と課題

##### ①成果

- ・個に応じた細かな指導を工夫するなど、授業改善につながった。
- ・実態に合った教材を準備することで、学習意欲が高まった。
- ・少人数になったことで、自分の意見を言うことができる児童が増えた。

##### ②課題

- ・基礎的な学力や理解する力に個人差が大きく、習熟度で分けても更なる工夫が必要。
- ・授業の打ち合わせの時間の確保がむずかしい。

#### 2 令和元年度の取組

##### ①実施方法

- ・3～5年生で習熟度別少人数指導を実施
- ・単元ごとにレディネステストを実施し、基礎コース（こんちゃんコース）、標準コース（どんちゃんコース）の2つに分かれる。

##### ②実施単元や授業

- ・単元のまとめ、ドリル的な内容の場合、T・T指導を行う。

##### ② 授業における基礎コースと標準コースの相違点

- ・既習事項の復習の有無
- ・問題の数値の難易度
- ・操作活動の有無

##### ④基本的な構え

- ・1時間の流れを伝え、見通しを持たせる。
- ・他者と協働し、多様な価値に気づかせる。(ペア学習・グループ学習)